

受付番号

54

許可番号

大歯医倫 第 111081 号

研究課題名

デンタルフロスの糸の本数が歯間清掃に与える影響

研究責任者

柿本 和俊

申請者

柿本 和俊

研究終了日

2021 年 3 月 31 日

所属

医療保健学部

所属

医療保健学部

口腔工学科

口腔工学科

職名

教授

職名

教授

申請の概要

デンタルフロスは歯ブラシでのブラッシングでは除去できない歯間部の清掃に効果的であるとされて使用が推奨されてきた。一方で、アメリカの AP 通信による調査は、デンタルフロスの効果についてエビデンスを示す論文はほとんどないと指摘している。デンタルフロスの効果は使用方法による影響が大きいと考えられるが、糸の本数の違いがプラーク掻き取り力にどのような違いをもたらすかは明らかにされていない。F 字型のデンタルフロスには、糸の本数が 1 本のもので 6 本のもものが市販されているが、実際のプラーク除去効率の違いは不明である。

そこで、本学医療保健学部口腔保健学科学学生 30 名を被験者として、健常者 1 本糸と 6 本糸の F 字型デンタルフロスによるプラーク細菌の除去量と、使用前後の口腔内状態ならびに使用感等に関する調査票を比較検討する。本研究によって、使用しやすく効率的清掃ができるデンタルフロスの形状がわかれば、歯間部の清掃性が高まり齲蝕や歯周疾患の予防につながると期待できる。